

UTAdvanced UP35A

はじめに

本シートの見方

本シート以降のシートでは、「各部の名称と機能」、「運転パラメータマップ/プログラムパラメータ」、「セットアップパラメータマップ」、「パラメーター一覧表」を示します。

シート「各部の名称と機能」

各部の名称と機能、パラメータ表示レベルの見方、パラメータマップの記号、数値の意味、パラメータ画面の遷移と設定操作、表示記号一覧が記載されています。

シート「運転_マップ(PRO)」

運転パラメータマップが記載されています。操作ガイドとして利用できます。

シート「セットアップ_マップ(PRO)」

セットアップパラメータマップが記載されています。操作ガイドとして利用できます。

シート「パラメーター一覧表(PRO)」

運転パラメータ、セットアップパラメータの設定範囲、初期値が記載されています。お客様設定値欄をご利用できます。

シート「プログラムデータシート」

プログラムパラメータの設定値記入やプログラムパターン作成にご利用できます。

シート「プログラムパターン設定例」

簡単なプログラムパターン例が記載されています。

記載されているパラメータは、パラメータ表示レベルがプロフェッショナル設定モード(LEVL=PRO)のときの表示となります。なお、形名・仕様コードにより表示されないパラメータがあります。詳細については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

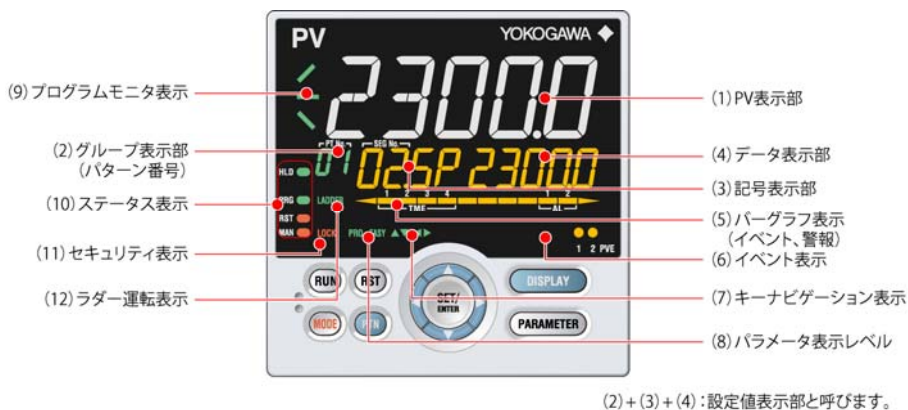
運転パラメータ/プログラムパラメータ: 運転に必要な機能を設定するパラメータとプログラムパターンを作成するパラメータです。

セットアップパラメータ: 調節計の基本機能を設定するパラメータです。

UTAdvanced UP35A

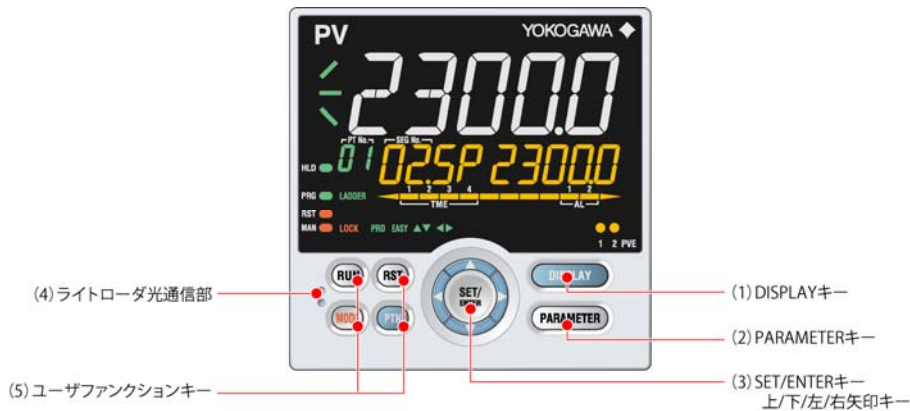
各部の名称と機能

UP35A表示部



図中の番号	名称	内容												
(1)	PV 表示部 (白色または赤色)	測定入力値(PV)が表示されます。エラー発生時にはエラーコードが表示されます。 ガイド表示オンのときは、メニュー画面、パラメータ設定画面でガイドがスクロール表示されます。												
(2)	グループ表示部(パターン番号) (パターン番号)(緑色)	運転画面では、プログラムパターン番号1~2(付加仕様付きで4)が表示されます。パラメータ設定画面では、グループ番号(1~4、R)、端子エリア(E1~E4)が表示されます。												
(3)	記号表示部(オレンジ)	パラメータ記号が表示されます。												
(4)	データ表示部(オレンジ)	パラメータ設定値やメニュー記号などが表示されます。												
(5)	バーグラフ表示部(イベント、警報) (オレンジと白色)	運転画面では、イベント状態や実行中のセグメント位置を表示します。(初期値:タイムイベント状態、警報状態) 制御出力値(OUT)や測定入力値(PV)なども表示できます。表示させるデータは、パラメータで設定できます。												
(6)	イベント表示部(オレンジ)	PVイベント発生時に点灯します。(初期値) イベント表示は、パラメータで設定できます。												
(7)	キーナビゲーション表示(緑色)	上/下および左/右のキー操作が有効な場合に点灯または点滅します。												
(8)	パラメータ表示レベル (緑色)	パラメータ表示レベル機能の設定状態を表示します。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>パラメータ表示レベル</td> <td>EASY</td> <td>PRO</td> </tr> <tr> <td>かんたん設定モード</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>スタンダード設定モード</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>プロフェッショナル設定モード</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> </tr> </table>	パラメータ表示レベル	EASY	PRO	かんたん設定モード	点灯	消灯	スタンダード設定モード	消灯	消灯	プロフェッショナル設定モード	消灯	点灯
パラメータ表示レベル	EASY	PRO												
かんたん設定モード	点灯	消灯												
スタンダード設定モード	消灯	消灯												
プロフェッショナル設定モード	消灯	点灯												
(9)	プログラムモニタ表示 (緑色)	運転中のプログラム設定値の上昇、一定、下降の状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ↗ :偏差が偏差表示幅を上側に超えた場合に点灯します。 ↔ :偏差が偏差表示幅の範囲内の場合に点灯します。 ↘ :偏差が偏差表示幅を下側に超えた場合に点灯します。 												
(10)	ステータス表示 (緑色と赤色)	運転状態、制御状態が表示されます。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>表示</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td>HLD</td> <td>ホールド運転時に点灯します。</td> </tr> <tr> <td>PRG</td> <td>プログラムパターン運転時点灯します。 プログラム運転開始時間(S.TM)で設定した時間中も点灯します。</td> </tr> <tr> <td>RST</td> <td>プログラムパターン運転停止時に点灯します。</td> </tr> <tr> <td>MAN</td> <td>手動(MAN)時に点灯します。AT実行中は点滅します。</td> </tr> </table>	表示	内容	HLD	ホールド運転時に点灯します。	PRG	プログラムパターン運転時点灯します。 プログラム運転開始時間(S.TM)で設定した時間中も点灯します。	RST	プログラムパターン運転停止時に点灯します。	MAN	手動(MAN)時に点灯します。AT実行中は点滅します。		
表示	内容													
HLD	ホールド運転時に点灯します。													
PRG	プログラムパターン運転時点灯します。 プログラム運転開始時間(S.TM)で設定した時間中も点灯します。													
RST	プログラムパターン運転停止時に点灯します。													
MAN	手動(MAN)時に点灯します。AT実行中は点滅します。													
(11)	セキュリティ表示(赤色)	パスワードが設定されているときに点灯します。 セットアップパラメータ設定をロックします。												
(12)	ラダー運転表示(緑色)	ラダープログラム運転実行中に点灯します。												

UP35A操作部



図中の番号	名称	内容
(1)	DISPLAYキー	運転画面を切り替えるためのキーです。 運転画面で押すと、用意された数種類の運転画面を切り替えます。メニュー画面またはパラメータ設定画面で押すと、運転画面へ戻ります。
(2)	PARAMETERキー	3秒押すと、運転パラメータ設定画面に展開します。 左矢印キーと同時に3秒押すと、セットアップパラメータ設定画面に展開します。 パラメータ設定画面で押すと、メニュー画面に戻ります。 パラメータ設定(設定値点滅)をキャンセルする場合、1回押します。
(3)	SET/ENTERキー 上/下/左/右矢印キー	SET/ENTERキー メニュー画面で押すと、そのメニューに属するパラメータ設定画面に展開します。パラメータ設定画面で押すと、パラメータ設定モード(設定値点滅)へ移行し、パラメータ設定値が変更可能になります。 パラメータ設定モード中に押すと、設定値が登録されます。 上/下/左/右キーメニュー画面で左/右キーを押すと、画面が切り替わります。 パラメータ設定画面で上/下/左/右キーを押すと、画面が切り替わります。 パラメータ設定モード(設定値点滅)中に、上/下キーを押すと、設定値が変更されます。 パラメータ設定モード(設定値点滅)中に、左/右キーを押すと、パラメータにより桁移動します。
(4)	ライトローダ光通信部	パソコンからパラメータの設定や保存などを行うときのアダプタケーブルとの通信インタフェースです。別売のLL50Aパラメータ設定ソフトウェアが必要です。
(5)	RUNキー RSTキー MODEキー PTNキー	RUNキー: プログラムパターン運転停止時、1秒押すとプログラムパターン運転を開始します。 RSTキー: プログラムパターン運転時、1秒押すとプログラムパターン運転を停止します。 MODEキー: キーを押すごとに、ホールド、アドバンス、ローカル、自動/手動などの運転モードが表示されます。変更する場合は、設定値点滅状態でSET/ENTERキーを押します。 PTNキー: プログラムパターン運転以外の運転時、プログラムパターン番号を選択できます。(グループ表示部に表示されるプログラムパターン番号が点滅します)プログラムパターン番号が点滅しているとき、PTNキーを押すと運転画面に戻ります。 ユーザが機能を割り付けることも可能です。機能はパラメータで設定します。

パラメータ表示レベルの見方

パラメータ表示レベルとは、表示するパラメータを制限する機能です。工場出荷時は、LEVL=STDです。制限することで、不用意な機能変更を防ぐことができます。

パラメータ表示レベルは表示を非表示にするだけの機能なので、設定した機能は動作します。

パラメータ表示レベルの変更

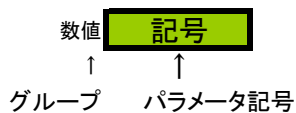
セットアップパラメータ:LEVLの設定値を変更することで、表示するパラメータを制限できます。

パラメータ表示レベル	設定値	
EASY 常時表示。	EASY	記号
	STD	記号 記号
PRO	PRO	記号 記号 記号


パラメータ表示レベル(LEVL)が、スタンダード設定モード(STD)またはプロフェッショナル設定モード(PRO)の場合に表示。

パラメータ表示レベル(LEVL)が、プロフェッショナル設定モード(PRO)の場合に表示。

パラメータマップの記号、数値の意味



- グループ E1: E1端子エリアのパラメータを意味します。
- E3: E3端子エリアのパラメータを意味します。
- E4: E4端子エリアのパラメータを意味します。
- 数字1~4, R: グループ番号を意味します。

 セットアップパラメータの設定値や運転状態により、表示が制限されている場合があります。

パラメータ画面の遷移と設定操作

運転画面またはセットアップパラメータ設定画面から運転パラメータ設定画面への遷移



運転画面または運転パラメータ設定画面からセットアップパラメータ設定画面への遷移



運転画面への遷移

設定中に操作がわからなくなったとき、DISPLAYキーを数回押していただくと、運転画面(電源オン時の表示画面)に戻れます。

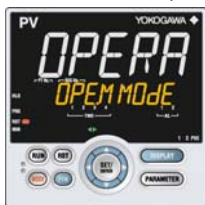


<設定のための操作>

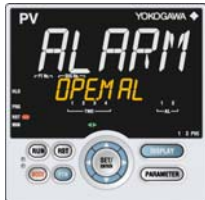
- ・初期値として表示される設定内容を選択する場合:そのまま下矢印キーを押して次の設定項目(パラメータ)に移動します。
- ・内容を変更して設定したい場合:SET/ENTERキーを押して設定値を点滅させます。点滅状態で変更可能(設定モード)になりますので、上下左右の矢印キーを使用して設定値を変更します。SET/ENTERキーを押しその設定を確定します。

以下の操作方法は、警報設定値(A1)を設定する例です。

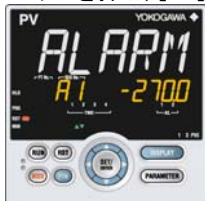
1. 運転画面でPARAMETERキーを3秒押し、[MODE]メニュー画面を表示させます。



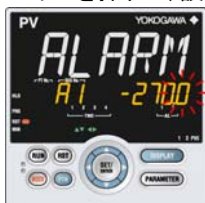
2. 右矢印キーを押し、[AL]メニュー画面を表示させます。



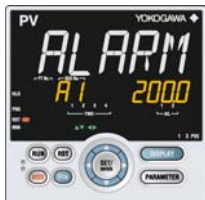
3. SET/ENTERキーを押し、[A1]パラメータ設定画面を表示させます。



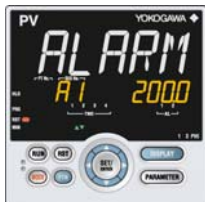
4. SET/ENTERキーを押すと、設定値が点滅します。



5. 上矢印キーまたは下矢印キーを押し、設定値を変更します。
(上下矢印キーで数値の増減、左右矢印キーで桁の移動を行い、設定値を変更します)



6. SET/ENTERキーを押し、設定値を登録します。(設定値が点滅から点灯に変わります)



7. メニュー画面に戻るときはPARAMETERキーを1回、運転画面に戻るときは、DISPLAYキーを1回押します。

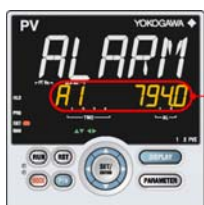
設定完了。

パラメータ設定のキャンセル

パラメータ設定中(設定値点滅中)に設定を止めたい場合は、PARAMETERキーを1回押します。

パラメータ設定値の設定方法

数値の設定



A1 7940

1. パラメータ設定画面を表示

A1 7940

2. SET/ENTER キーで設定モードへ（設定値点滅）

A1 7940

3. 左矢印キーで左へ桁移動（右矢印キーで右へ桁移動）

A1 8040

4. 上矢印キーで設定値変更（下矢印キーで設定値変更）9で上矢印キーを押すと桁上がり、0で下矢印キーを押すと桁下がりします。

A1 8040

5. SET/ENTER キーで確定

選択データの設定



HOLD OFF

1. パラメータ設定画面を表示

HOLD OFF

2. SET/ENTER キーで設定モードへ（設定値点滅）

HOLD ON

3. 上矢印キーで設定値変更（下矢印キーで設定値変更）

HOLD ON

4. SET/ENTER キーで確定

時間(分.秒)の設定



17分 59秒の例

dYN 1 1759

1. パラメータ設定画面を表示

dYN 1 1759

2. SET/ENTER キーで設定モードへ（設定値点滅）

dYN 1 1809

3. 左矢印キーで左へ桁移動（右矢印キーで右へ桁移動）

dYN 1 1809

4. 上矢印キーで設定値変更（下矢印キーで設定値変更）5で上矢印キーを押すと桁上がり、0で下矢印キーを押すと桁下がりします。

dYN 1 1809

5. SET/ENTER キーで確定

表示記号一覧

UP35Aに表示されるパラメータ記号、メニュー記号、ガイドの英数字、記号の一覧です。

数字(全ての表示部で共通)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

PV表示部(14セグメント): アルファベット

A B C D E F
G H I J K L
M N O P Q R
S T U V W X
Y Z

記号表示部/データ表示部(11セグメント): アルファベット

A B C D E F
G H I J K L
M N O P Q R
S T U V W X
Y Z
C (小文字)
c

グループ表示部(7セグメント): アルファベット

A B C D E F
G H I J K L
M N O P Q R
S T U V W X
Y Z

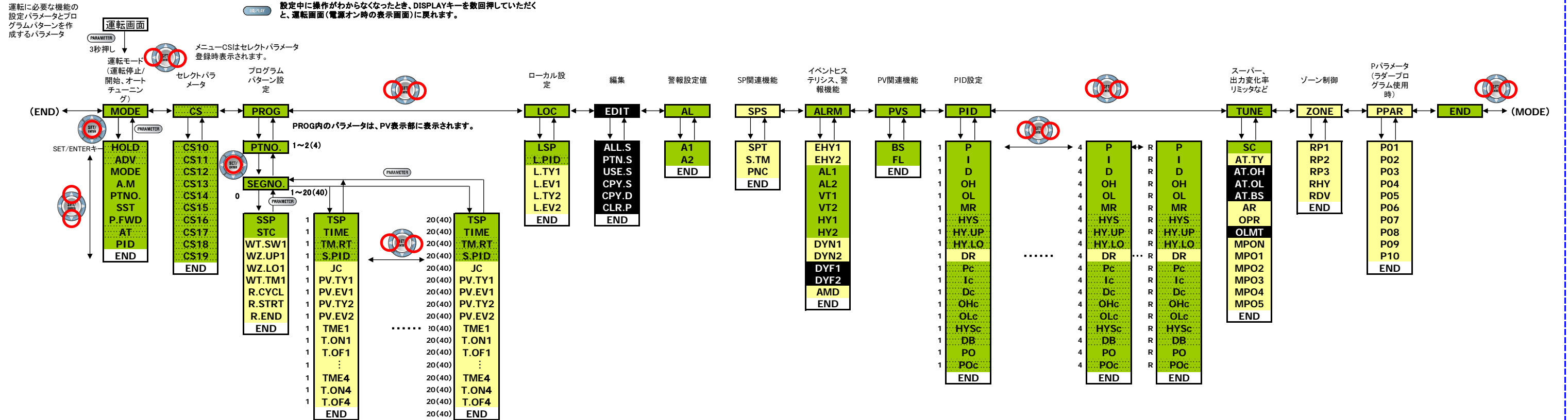
PV表示部(14セグメント): 記号

スペース - / ' ,

UTAdvanced UP35A

運転パラメータ/プログラムパラメータマップ

※このパラメータマップは、形名・仕様コードにより表示されないパラメータがあります。詳細については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。



記号 常時表示されます。

記号 パラメータ表示レベル(LEVL)が、スタンダード設定モード(STD)またはプロフェッショナル設定モード(PRO)の場合に表示されます。

記号 パラメータ表示レベル(LEVL)が、プロフェッショナル設定モード(PRO)の場合に表示されます。

数値 **記号** **記号** セットアップパラメータの設定値や運転状態により、表示が制限されている場合があります。

↑ ↑ ↑
グループ/セグメント L2:プログラムパターン2伝送用
パラメータ記号

運転パラメータ設定画面からセットアップパラメータ設定画面への遷移

3秒押し

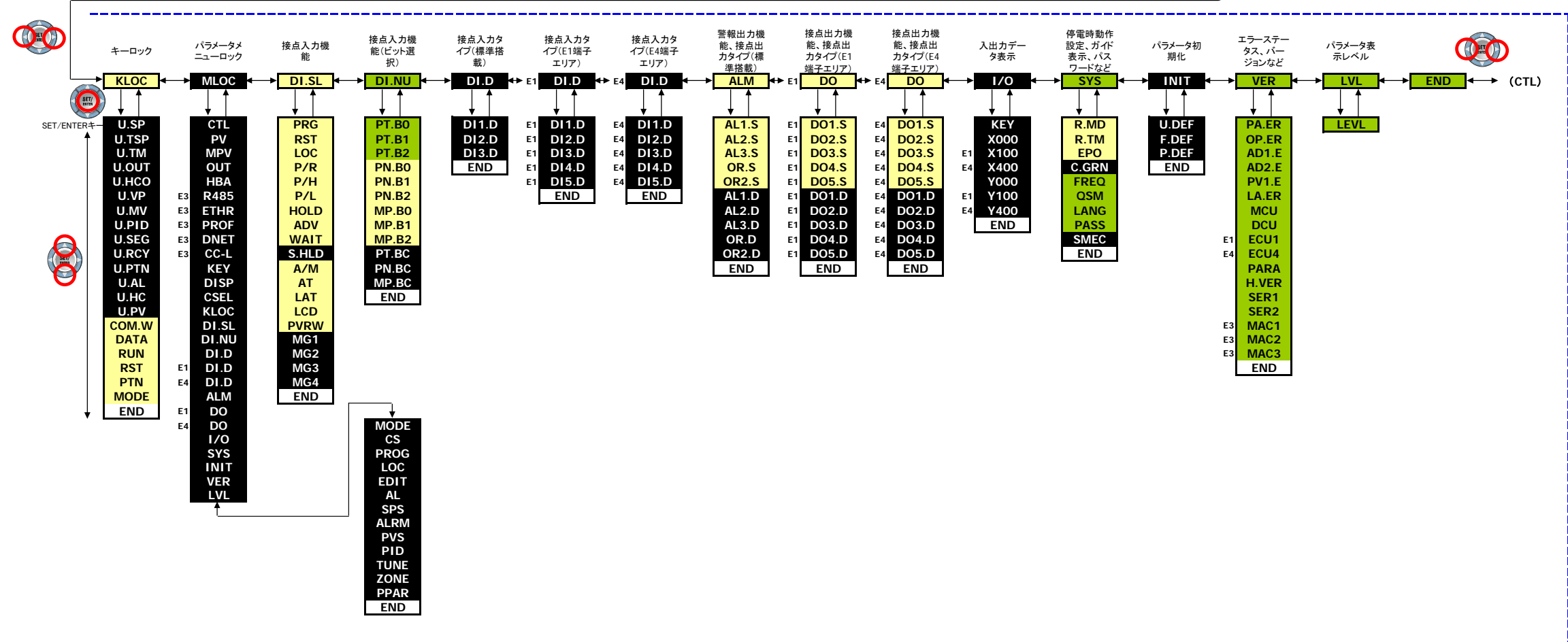
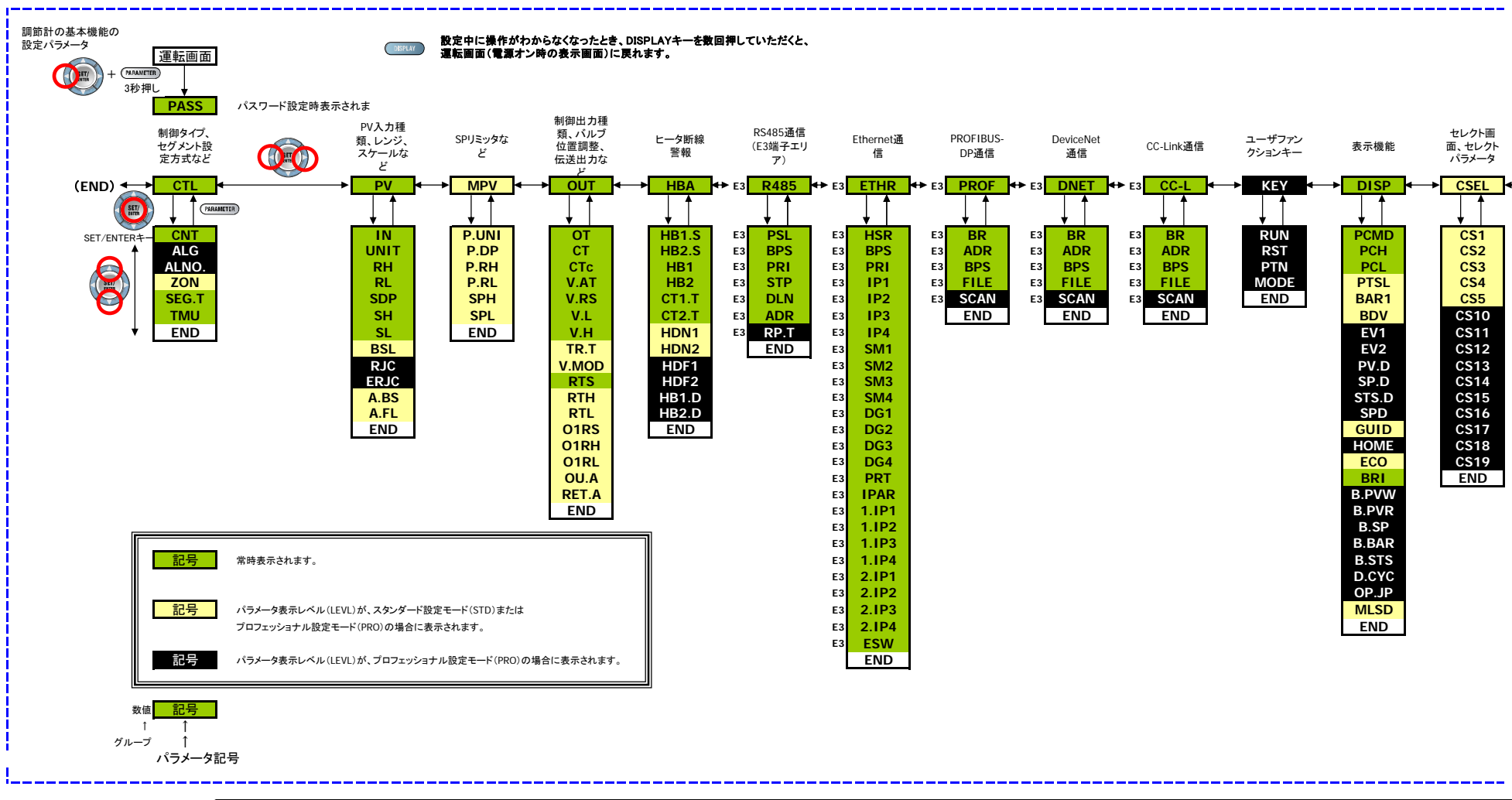
セットアップパラメータ設定画面から運転パラメータ設定画面への遷移

3秒押し

UTAdvanced UP35A

セットアップパラメータマップ

※このパラメータマップは、形名・仕様コードにより表示されないパラメータがあります。詳細については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。



UTAdvanced UP35A

パラメータ一覧表

※このパラメータマップは、形名・仕様コードにより表示されないパラメータがあります。
 詳細については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

運転パラメータ/プログラムパラメータ

運転モードパラメータ

メニュー	モード記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
MODE	HOLD	プログラム運転一時停止/解除	EASY	ON:一時停止 OFF:解除(プログラム運転再開) ※プログラム運転中に表示されます。	OFF	
	ADV	セグメント強制移行(アドバンス)	EASY	OFF:ー ON:セグメント強制移行 ※プログラム運転中に表示されます。	OFF	
	MODE	運転モード	EASY	RESET:プログラム運転停止 PROG:プログラム運転開始 LOCAL:ローカル運転開始	RESET	
	A.M	自動/手動切替	EASY	AUTO:自動 MAN:手動	MAN	
	PTNO.	プログラムパターン番号選択	EASY	0:パターン選択なし 1~2 または4(付加仕様/AP付きの場合)	0	
	SST	プログラムスタートセグメント番号	EASY	1~20または40(付加仕様/AP付きの場合) ※プログラム運転(PROG)からプログラム運転停止(RESET)またはローカル運転(LOCAL)に変わると自動的に1に戻ります。	1	
	P.FWD	プログラム運転早送り	EASY	1:1倍速 2:2倍速 5:5倍速 10:10倍速 ※この機能は、プログラムパターンが正しく設定されているかを確認するときに使用します。セグメント時間とタイムイベントの時間のみを早めます。 ※早送り機能実行後は、1倍速(通常)に戻ります。	1	
	AT	オートチューニング起動/停止	EASY	OFF:オートチューニングオフ 1~4:オートチューニング開始、チューニング結果は指定した番号のPIDに格納 R:リファレンス偏差用のPIDに格納	OFF	
	PID	PID番号	EASY	選択中のPIDグループ番号が表示されます。(表示のみ) 1~4、R:リファレンス偏差用のPIDグループ	1	

セレクトパラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
CS	CS10	セレクトパラメータ10	EASY	セットアップパラメータCS10~CS19で登録したパラメータの設定範囲 ユーザーズマニュアルをご覧ください。	-	
	CS11	セレクトパラメータ11	EASY		-	
	CS12	セレクトパラメータ12	EASY		-	
	CS13	セレクトパラメータ13	EASY		-	
	CS14	セレクトパラメータ14	EASY		-	
	CS15	セレクトパラメータ15	EASY		-	
	CS16	セレクトパラメータ16	EASY		-	
	CS17	セレクトパラメータ17	EASY		-	
	CS18	セレクトパラメータ18	EASY		-	
	CS19	セレクトパラメータ19	EASY		-	

プログラムパターン設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
PROG> SEGN0.	SSP	スタート目標設定値	EASY	PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL	シート「プログラムデータシート」参照
	STC	スタートコード	EASY	SSP:SSPスタート RAMP:勾配優先PVスタート TIME:時間優先PVスタート LSP:ローカルスタート ※パラメータSEG.TがTM.RTのときはSTC=TIMEを選択できません。	SSP	シート「プログラムデータシート」参照
	WT.SW1	ウェイト機能オン/オフ	STD	OFF:機能なし ON:機能あり	OFF	シート「プログラムデータシート」参照
	WZ.UP1	上側ウェイトゾーン	STD	PV入力レンジスパンの0.0~10.0%(工業量)	0.5%	シート「プログラムデータシート」参照
	WZ.LO1	下側ウェイトゾーン	STD			シート「プログラムデータシート」参照
	WT.TM1	ウェイトタイム	STD	OFF:機能なし 0.01~999.59(時分)または(分秒) ※セグメント切替時のウェイトのみで動作します。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	OFF	シート「プログラムデータシート」参照
	R.CYCL	リピート回数	STD	0~999、CONT(無限回数)	0	シート「プログラムデータシート」参照
	R.STRT	リピートスタートセグメント番号	STD	1~20または40(付加仕様/AP付きの場合) 1≤R.STRT≤R.END≤20(40)	1	シート「プログラムデータシート」参照
	R.END	リピートエンドセグメント番号	STD		1	シート「プログラムデータシート」参照

プログラムパターン設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
PROG> PTNO.	TSP	到達目標設定値	EASY	PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL	シート「プログラムデータシート」参照
	TIME	セグメント時間	EASY	-:未登録 0.00~999.59(時分)または(分秒) ※パラメータSEG.T=TIMEの場合に設定できます。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通) ※0.00のときは、1制御周期でTSPがステップ状に変化します。	-	シート「プログラムデータシート」参照
	TM.RT	セグメント勾配・時間	EASY	-:未登録 ランプ時:1時間または1分間あたりPV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量) ソーク時:0.00~999.59(時分)または(分秒) ※パラメータSEG.T=TM.RTの場合に設定できます。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通) 1時間あたり:TMU=HH.MM 1分間あたり:TMU=MM.SS ※入力レンジの0.0%またはセグメントタイム0.00のときは、1制御周期で次ぎのセグメントに移行します。	-	シート「プログラムデータシート」参照
	S.PID	セグメントPID番号選択	EASY	1~4 ※パラメータZON=0の場合に設定できます。	1	シート「プログラムデータシート」参照
	JC	ジャンクションコード	STD	CONT:継続切替 HOLD:ホールド切替 LOCAL:ローカル切替 W.SW:セグメント切替時ウェイト W.IV:セグメント区間内ウェイト W.SL:セグメント切替ウェイト解除後ローカル切替(最終セグメントで有効) PLK.1~PLK.2(付加仕様/AP付きの場合PLK.4):パターン1~2(4)にリンク INS.:指定したセグメントの後にセグメントを追加 DEL.:指定したセグメントを削除	CONT	シート「プログラムデータシート」参照
	PV.TY1~ PV.TY2	PVイベント1~2種類	STD	OFF:未設定(励磁) 1:PV上限、 2:PV下限、 3:SP上限、 4:SP下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP上限、 10:到達SP下限、 11:到達SP偏差上限、 12:到達SP偏差下限、 13:到達SP偏差上下限、 14:到達SP上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※非励磁の場合は、100を加算します。例えば、PV上限、非励磁は101となります。	OFF	シート「プログラムデータシート」参照
	PV.EV1~ PV.EV2	PVイベント1~2設定値	STD	PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999~30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。	0	シート「プログラムデータシート」参照
	TME1~TME4	タイムイベント1~4開始条件	STD	ON:ONスタート OFF:OFFスタート	OFF	シート「プログラムデータシート」参照
	T.ON1~T.ON4	タイムイベント1~4オン時間	STD	-:未設定 0.01~999.59(時分)または(分秒) ※セグメント時間内のみ有効です。	-	シート「プログラムデータシート」参照
	T.OF1~T.OF4	タイムイベント1~4オフ時間	STD	※運転モードがプログラム運転以外に変更されるとOFFになります。 ※時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	-	シート「プログラムデータシート」参照

ローカル設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
LOC	LSP	ローカル目標設定値	EASY	PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量) (設定範囲:P.RL~P.RH)	P.RL	
	LPID	ローカルPID番号選択	EASY	使用するPIDグループ番号を設定します。1~4 ※ パラメータZON=0または5の場合に設定できません。 ※ パラメータZON=5のとき、運転モードに関係なくローカルPIDを選択します。	1	
	LTY1	ローカルイベント1種類	STD	OFF:未設定(励磁) 1:PV上限、 2:PV下限、 3:SP上限、 4:SP下限、 5:偏差上限、 6:偏差下限、 7:偏差上下限、 8:上下限偏差内、 9:到達SP上限、 10:到達SP下限、 11:到達SP偏差上限、 12:到達SP偏差下限、 13:到達SP偏差上下限、 14:到達SP上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限 ※ 非励磁の場合は、100を加算します。例えば、PV上限、非励磁は101となります。	OFF	
	LEV1	ローカルイベント1設定値	STD	PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999~30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。	0	
	LTY2	ローカルイベント2種類	STD	ローカルイベント1種類と同じ	OFF	
	LEV2	ローカルイベント2設定値	STD	ローカルイベント1設定値と同じ	0	

プログラム編集パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
EDIT	ALL.S	残り未使用セグメント数	PRO	0~20(付加仕様/AP付きの場合40)(表示のみ)	20または40	
	PTN.S	セグメント数確認パターン番号指定	PRO	パラメータUSE.Sに表示させるプログラムパターン番号を指定します。 1~2(付加仕様/AP付きの場合4)	0	
	USE.S	パターン内のセグメント数	PRO	パラメータPTN.Sでプログラムパターン番号を指定した場合に表示されます。(表示のみ) 0:未登録 1~20(付加仕様/AP付きの場合40)	-	
	CPY.S	コピー元パターン番号指定	PRO	コピー元のプログラムパターン番号を指定します。 1~2(付加仕様/AP付きの場合4)	0	
	CPY.D	コピー先パターン番号指定	PRO	コピー先のプログラムパターン番号を指定します。 1~2(付加仕様/AP付きの場合4)	0	
	CLR.P	プログラムパターン消去	PRO	消去するプログラムパターン番号を指定します。 1~2(付加仕様/AP付きの場合4)	0	

警報設定値設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
AL	A1	警報1設定値	EASY	運転モードに関係なく動作する警報です。 PV警報、SP警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999~30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。	0	
	A2	警報2設定値	EASY	同上	0	

SP関連設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
SPS	SPT	SPTラッキング選択	STD	OFF、ON ※ プログラム運転またはリモート運転からローカル運転に切り替わるときラッキングします。(ローカル設定値がプログラム設定値に追従)	OFF	
	S.TM	プログラムの運転開始時間	STD	0.00~999.59(時:分:秒) (計器で共通) ※ 時間単位は、パラメータTMUで設定します。(計器で共通)	0.00	
	PNC	プログラムパターン番号クリア指定	STD	OFF:クリアなし ON:クリア(プログラムパターン番号0) ※ 運転終了後、プログラムパターン番号を'0'に戻します。	OFF	

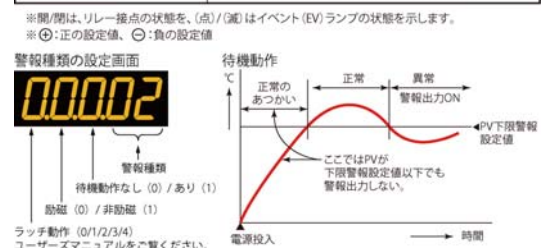
警報機能設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
ALRM	EHY1	イベント1ヒステリシス	STD	PVイベントとローカルイベントのヒステリシス設定値をパーセントで設定します。 0.0~100.0%	0.5%	
	EHY2	イベント2ヒステリシス	STD	設定値は、PV入力レンジスパンまたは出カスパンに対するパーセントです。	0.5%	
	AL1	警報1種類	EASY	運転モードに関係なく動作する警報です。 設定は、下記の順番で5桁です。 [警報種類2桁(下記)]+[待機動作 無(0)または有(1)]+[励磁(0)または非励磁(1)]+[ラッチ動作(0/1/2/3/4)] 警報種類2桁 00:未設定、 01:PV上限、 02:PV下限、 03:SP上限、 04:SP下限、 05:偏差上限、 06:偏差下限、 07:偏差上下限、 08:上下限偏差内、 09:到達SP上限、 10:到達SP下限、 11:到達SP偏差上限、 12:到達SP偏差下限、 13:到達SP偏差上下限、 14:到達SP上下限偏差内、 15:制御出力上限、 16:制御出力下限、 17:冷却側制御出力上限、 18:冷却側制御出力下限、 19:アナログ入力PV下限、 20:アナログ入力PV上限、 27:フィードバック入力上限、 28:フィードバック入力下限、 29:PV変化率、 30:自己診断、 31:FAIL	PV上限(01) 待機動作無(0) 励磁(0) ラッチ動作(0)	
	AL2	警報2種類	EASY	同上	PV下限(02) 待機動作無(0) 励磁(0) ラッチ動作(0)	
	VT1	PV変化率警報時間設定値1	EASY	00.01~99.59(分:秒)	1.00	
	VT2	PV変化率警報時間設定値2	EASY	同上	1.00	
	HY1	警報1ヒステリシス	EASY	ヒステリシスの設定値を表示値で設定します。 -19999~30000(入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。入力種類が小数点以下1桁の場合、ヒステリシスの初期値は1.0となります。	10	
	HY2	警報2ヒステリシス	EASY	同上	10	
	DYN1	警報1オンディレイタイム	STD	0.00~99.59(分:秒)	0.00	
	DYN2	警報2オンディレイタイム	STD	同上	0.00	
	DYF1	警報1オフディレイタイム	PRO	0.00~99.59(分:秒)	0.00	
	DYF2	警報2オフディレイタイム	PRO	同上	0.00	
	AMD	警報モード	STD	0:常に警報が動作 1:運転停止(RESET)時、警報は動作しない 2:運転停止(RESET)または手動運転時、警報は動作しない	0	

PV関連設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
PVS	BS	PV入力バイアス	EASY	PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.0%	
	FL	PV入力フィルタ	EASY	OFF、1~120秒	OFF	

警報種類、()内は設定値	警報動作(励磁)	警報動作(非励磁)
機能なし(00)	—	—
PV上限(01) アナログ入力PV上限(19)	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) PV 警報設定値	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) PV 警報設定値
PV下限(02) アナログ入力PV下限(20)	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) PV 警報設定値	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) PV 警報設定値
SP上限(03) 到達SP上限(09)	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) SPまたは到達SP	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) SPまたは到達SP
SP下限(04) 到達SP下限(10)	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) SPまたは到達SP	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) SPまたは到達SP
偏差上限(05) 到達SP偏差上限(11)	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP ⊕	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP ⊕
偏差下限(06) 到達SP偏差下限(12)	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP ⊖	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP ⊖
偏差上下限(07) 到達SP偏差上下限(13)	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) 閉(点) ↓ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) 閉(点) ↑ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP
上下限偏差内(08) 到達SP上下限偏差内(14)	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) 閉(点) ↓ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) 閉(点) ↑ 開(点) PV 偏差設定値 SPまたは到達SP
制御出力上限(15) 冷却側制御出力上限(17)	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) 出力値 警報設定値	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) 出力値 警報設定値
制御出力下限(16) 冷却側制御出力下限(18)	ヒステリシス 閉(点) ↓ 開(点) 出力値 警報設定値	ヒステリシス 閉(点) ↑ 開(点) 出力値 警報設定値
フィードバック入力上限(27)	自己診断警報(30) PV入力のパターンアウト、ADC異常、RUCエラー	
フィードバック入力下限(28)	FAIL(31)	
PV変化率警報(29)	工場出荷時、正常時接点がオン、FAIL時接点がオフとなります。 制御出力OFFまたは0%、警報出力OFFとなります。	



PID設定パラメータ						グループ1 (S.PID=1)	グループ2 (S.PID=2)	グループ3 (S.PID=3)	グループ4 (S.PID=4)
メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値	お客様設定値	お客様設定値	お客様設定値
PID	P	比例帯 加熱側比例帯(加熱冷却制御時)	EASY	0.0~999.9% 0.0%と設定すると、0.1%として動作します。 加熱冷却制御時、0.0%にすると加熱側オン/オフ制御	5.0%				
	I	積分時間 加熱側積分時間(加熱冷却制御時)	EASY	OFF: 積分動作なし 1~6000秒	240秒				
	D	微分時間 加熱側微分時間(加熱冷却制御時)	EASY	OFF: 微分動作なし 1~6000秒	60秒				
	OH	制御出力リミット上限値 加熱側制御出力リミット上限値(加熱冷却制御時)	EASY	-4.9~105.0%、(OL<OH) 加熱冷却制御時: 0.1~105.0%(OL<OH)	100.0%				
	OL	制御出力リミット下限値 加熱側制御出力リミット下限値(加熱冷却制御時)	EASY	-5.0~104.9%、(OL<OH)、SD: タイシャット 加熱冷却制御時、0.0~104.9%(OL<OH)	0.0%				
	MR	マニュアルリセット	EASY	-5.0~105.0%	50.0%				
	HYS	ヒステリシス 加熱側オン/オフ制御のヒステリシス	EASY	オン/オフ制御時: PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量) 加熱冷却制御または位置比例制御時: 0.0~100.0%					
	HY.UP	上側ヒステリシス(オン/オフ制御時)	EASY			PV入力レンジスパンの0.5%			
	HY.LO	下側ヒステリシス(オン/オフ制御時)	EASY			PV入力レンジスパンの0.5%			
	DR	正逆動作切替	STD	RVS: 逆動作 DIR: 正動作	RVS				
	Pc	冷却側比例帯	EASY	0.0~999.9% 加熱冷却制御時、0.0%にすると冷却側オン/オフ制御	5.0%				
	Ic	冷却側積分時間	EASY	OFF: 積分動作なし 1~6000秒	240秒				
	Dc	冷却側微分時間	EASY	OFF: 微分動作なし 1~6000秒	60秒				
	OHc	冷却側制御出力リミット上限値	EASY	0.1~105.0%、(OLc<OHc)	100.0%				
	OLc	冷却側制御出力リミット下限値	EASY	0.0~104.9%、(OLc<OHc)	0.0%				
	HYSc	冷却側オン/オフ制御のヒステリシス	EASY	0.0~100.0%	0.5%				
	DB	出力不感帯	EASY	加熱冷却制御時: -100.0~50.0% 位置比例制御時: 1.0~10.0%	3.0%				
	PO	プリセット出力 加熱側プリセット出力(加熱冷却制御時)	EASY	-5.0~105.0% ※ 運転停止時、固定出力値を出力できます。位置比例制御時はバルブ開度を設定します。	0.0%				
	POc	冷却側プリセット出力	EASY	-5.0~105.0% ※ 運転停止時、冷却側の固定出力値を出力できます。	0.0%				

チューニングパラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
TUNE	SC	スーパ機能	EASY	OFF: 機能なし 1: オーバーシュート抑制機能(通常モード) 2: ハンチング抑制機能(安定性重視モード) 3: ハンチング抑制機能(応答性重視モード) 4: オーバーシュート抑制機能(強抑制モード) 注意: 設定値2と3は、必ずPID制御、PI制御で使用してください。 以下の場合は、機能しません。 (1) オン/オフ制御、(2) PD制御、(3) P制御、(4) 加熱冷却制御 応答の早い制御(流量、圧力)では使用しないでください。	OFF	
	AT.TY	オートチューニングタイプ	STD	0: 通常 1: 安定	0	
	AT.OH	オートチューニング時出力リミット上限値	PRO	-5.0~105.0%(加熱冷却制御時は無効)	100.0%	
	AT.OL	オートチューニング時出力リミット下限値	PRO		0.0%	
	AT.BS	オートチューニング時目標設定値バイアス	PRO	PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%	PV入力レンジスパンの0.0%	
	AR	アンチリセットウィンドアップ	STD	AUTO、50.0~200.0%	AUTO	
	OPR	出力変化率リミッタ	STD	OFF: 機能しない 0.1~100.0%/秒	OFF	
	OLMT	出力リミッタスイッチ	PRO	OFF: 手動運転時出力リミッタ無効 ON: 手動運転時出力リミッタ有効	ON	
	MPO	マニュアルプリセット出力番号選択	STD	OFF: バンプレス(自動運転時の制御出力値を保持)、 1: マニュアルプリセット出力1を使用(出力バンブ) 2: マニュアルプリセット出力2を使用(出力バンブ) 3: マニュアルプリセット出力3を使用(出力バンブ) 4: マニュアルプリセット出力4を使用(出力バンブ) 5: マニュアルプリセット出力5を使用(出力バンブ) ※ 自動から手動に切り替えたときの出力を選択します。	OFF	
	MPO1	マニュアルプリセット出力1	STD		0.0%	
	MPO2	マニュアルプリセット出力2	STD		0.0%	
MPO3	マニュアルプリセット出力3	STD	-5.0~105.0%	0.0%		
MPO4	マニュアルプリセット出力4	STD	※ 出力リミッタによる制限を受けます	0.0%		
MPO5	マニュアルプリセット出力5	STD		0.0%		

ゾーン制御パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
ZONE	RP1	リファレンスポイント1	STD	PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジの100.0%	
	RP2	リファレンスポイント2	STD	(RP1 ≤ RP2 ≤ RP3)	PV入力レンジの100.0%	
	RP3	リファレンスポイント3	STD	※ 温度帯によりPID定数を切り替えるポイントを設定します。	PV入力レンジの100.0%	
	RHY	ゾーンPID切替のヒステリシス	STD	PV入力レンジスパンの0.0~10.0%(工業量) ※ リファレンスポイントでの切替時、ヒステリシスを設定できます。	PV入力レンジスパンの0.5%	
	RDV	リファレンス偏差	STD	OFF: 使用しない PV入力レンジスパンの0.0% + 1digit ~ 100.0% ※ SPからの偏差を設定します。この偏差から外れたとき、リファレンス偏差用のPIDが使用されます。	OFF	

Pパラメータ(ラダープログラム使用時)

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
PPAR	P01	P01パラメータ	STD		0	
	P02	P02パラメータ	STD		0	
	P03	P03パラメータ	STD		0	
	P04	P04パラメータ	STD		0	
	P05	P05パラメータ	STD		0	
	P06	P06パラメータ	STD	-199999~30000(小数点位置は、LL50Aパラメータ設定ソフトウェアで設定します)	0	
	P07	P07パラメータ	STD		0	
	P08	P08パラメータ	STD		0	
	P09	P09パラメータ	STD		0	
	P10	P10パラメータ	STD		0	

セットアップパラメータ

制御機能設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
CTL	CNT	制御タイプ	EASY	PID:PID制御 ONOF:オン/オフ制御(ヒステリシス1点) ONOF2:オン/オフ制御(ヒステリシス2点) H/C:加熱冷却制御	一般形:PID 加熱冷却形:H/C	
	ALG	PID制御モード	PRO	0:追従制御モード 1:定値制御モード	0	
	ALNO.	警報数	PRO	1~2	2	
	ZON	ゾーンPID選択	STD	0:セグメントPID選択方式 1:ゾーンPID選択方式(PV) 2:ゾーンPID選択方式(到達SP) 4:ゾーンPID選択方式(SP) 5:ローカルPID選択方式 ※セグメントPID選択方式のとき、セグメントごとにPIDを選択します。 ※ゾーンPID選択方式のとき、リファレンスポイントで設定した範囲により自動的にPID定数を選択します。 ※ローカルPID選択方式のとき、運転モードに関係なくローカルPIDを選択します	1	
	SEG.T	セグメント設定方式	EASY	TIME:セグメント時間設定 TM.RT:セグメント勾配・時間設定 注:設定を変更すると、プログラムパターンが消去されます。	TIME	
	TMU	プログラム時間単位	EASY	HH.MM:時・分 MM.SS:分・秒	HH.MM	

PV入力設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
PV	IN	PV入力種類	EASY	OFF:未設定 K1:-270.0~1370.0°C K2:-270.0~1000.0°C K3:-200.0~500.0°C J:-200.0~1200.0°C T1:-270.0~400.0°C T2:0.0~400.0°C B:0.0~1800.0°C S:0.0~1700.0°C R:0.0~1700.0°C N:-200.0~1300.0°C E:-270.0~1000.0°C L:-200.0~900.0°C U1:-200.0~400.0°C U2:0.0~400.0°C W:0.0~2300.0°C P2040:0.0~1900.0°C WRE:0.0~2000.0°C JPT1:-200.0~500.0°C JPT2:-150.00~150.00°C PT1:-200.0~850.0°C PT2:-200.0~500.0°C PT3:-150.00~150.00°C 0.4-2V:0.400~2.000V 1-5V:1.000~5.000V 4-20:4.00~20.00mA 0-2V:0.000~2.000V 0-10V:0.00~10.00V 0-20:0.00~20.00mA -1020:-10.00~20.00mV 0-100:0.0~100.0mV	OFF	
	UNIT	PV入力単位	EASY	--:無単位 C:摂氏	C	
	RH	PV入力レンジ最大値	EASY	入力種類による — 温度入力の場合— 実際に制御する温度範囲を設定します。(RL<RH) — 電圧/電流入力の場合— 電圧/電流信号の範囲を設定します。 実際に制御するスケール値は、入カスケール最大値(SH)と入カスケール最小値(SL)で設定します。 (RL=RHの場合、入力は常に0%になります)	入力種類による	
	RL	PV入力レンジ最小値	EASY	入力種類による		
	SDP	PV入カスケール小数点位置	EASY	0:小数点なし 1:小数点以下1桁 2:小数点以下2桁 3:小数点以下3桁 4:小数点以下4桁	入力種類による	
	SH	PV入カスケール最大値	EASY	-19999~30000	入力種類による	
	SL	PV入カスケール最小値	EASY	(SL<SH)、 SH-SL ≤ 30000	入力種類による	
	BSL	PV入カバースタート動作	STD	OFF:バースタート機能なし UP:アップスケール DOWN:ダウンスケール	入力種類による	
	RJC	PV入力基準接点補償	PRO	OFF:RJCオフ ON:RJCオン	ON	
	ERJC	PV入力外部基準接点補償設定値	PRO	-10.0~60.0°C	0.0	
	A.BS	PVアナログ入カバイアス	STD	PV入力レンジスパンの-100.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの0.0%	
	A.FL	PVアナログ入カフィルタ	STD	OFF、1~120秒	OFF	

入力レンジ/SPリミッタ設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
MPV	P.UNI	制御PV入力単位	STD	--:無単位 C:摂氏	PV入力単位と同じ	
	P.DP	制御PV入力小数点位置	STD	0:小数点なし 1:小数点以下1桁 2:小数点以下2桁 3:小数点以下3桁 4:小数点以下4桁	入力種類による	
	P.RH	制御PV入力レンジ最大値	STD	-19999~30000	入力種類による	
	P.RL	制御PV入力レンジ最小値	STD	(P.RL<P.RH)、 P.RH-P.RL ≤ 30000	入力種類による	
	SPH	SPリミット上限値	STD	PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジの100.0%	
	SPL	SPリミット下限値	STD	PV入力レンジの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジの0.0%	

出力設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
OUT	OT	出力種類選択	EASY	制御出力または加熱制御出力(下2桁) 00: OFF 01: OUT端子(電圧パルス) 02: OUT端子(電流) 03: OUT端子(リレー/トライアック) 06: OUT2端子(リレー) 07: RET/OUT2端子(電圧パルス) 08: RET/OUT2端子(電流) 冷却制御出力(上2桁) 00: OFF 01: OUT端子(電圧パルス) 02: OUT端子(電流) 03: OUT端子(リレー/トライアック) 06: OUT2端子(リレー) 07: RET/OUT2端子(電圧パルス) 08: RET/OUT2端子(電流)	一般形: 00.03 加熱冷却形: 06.03	
	CT	制御出力サイクルタイム 加熱制御出力タイム(加熱冷却制御時)	EASY	0.5~1000.0秒	30.0秒	
	CTc	冷却制御出力サイクルタイム	EASY		30.0秒	
	V.AT	バルブ位置自動調整	EASY	OFF: 自動調整停止 ON: 自動調整開始	OFF	
	V.RS	バルブ位置リセット	EASY	V.RS=ONを設定すると、バルブ調整値がリセットされV.RSが点滅します。	OFF	
	V.L	バルブ全開位置設定	EASY	バルブ位置を▽キーで全開位置にしてSET/ENTERキーを押すと、調整値が記憶されます。全開の調整が終了すると、V.Lの点滅が停止します。	.	
	V.H	バルブ全開位置設定	EASY	バルブ位置を△キーで全開位置にしてSET/ENTERキーを押すと、調整値が記憶されます。全開の調整が終了すると、V.Hの点滅が停止します。	.	
	TR.T	バルブ動作時間	STD	5~300秒	60秒	
	V.MOD	バルブ調整モード	STD	0: バルブ位置フィードバック型 1: バルブ位置フィードバック型(フィードバック入力エラー発生時または断線時に推測型に移行) 2: バルブ位置推測型	0	
	RTS	RET伝送出力種類	EASY	OFF: 未設定 PV1: PV SP1: SP OUT1: OUT(位置比例制御時、弁開度(0~100%)) LPS: 15VDCセンサ用供給電源 TSP1: 到達SP HOUT1: 加熱側OUT COU1: 冷却側OUT MV1: 位置比例出力(内部演算値) PV: PV端子アナログ入力	PV1	
	RTH	RET伝送出力スケール最大値	STD	RTS=PV1, SP1, TSP1, PVの場合、 RTL+1digit~30000 -19999~RTH-1digit	PV入力レンジの100%	
	RTL	RET伝送出力スケール最小値	STD	小数点位置は、 RTS=PV1, SP1, TSP1の場合、PV入力的小数点位置と同じです。 RTS=PVの場合、PV入力スケール小数点位置と同じです。	PV入力レンジの0%	
	O1RS	OUT電流出力の伝送出力種類	STD	RTSと同じ	OFF	
	O1RH	OUT電流出力の伝送出力スケール最大値	STD	O1RS=PV1, SP1, TSP1, PVの場合、 O1RL+1digit~30000 -19999~O1RH-1digit	.	
	O1RL	OUT電流出力の伝送出力スケール最小値	STD	小数点位置は、 O1RS=PV1, SP1, TSP1の場合、PV入力的小数点位置と同じです。 O1RS=PVの場合、PV入力スケール小数点位置と同じです。	.	
OU.A	OUT電流出力レンジ	STD	4-20: 4~20mA、 0-20: 0~20mA、 20-4: 20~4mA、 20-0: 20~0mA	4-20		
RET.A	RET電流出力レンジ	STD	20-0: 20~0mA	4-20		

ヒータ断線警報設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
HBA	HB1.S	ヒータ断線警報1機能選択	EASY	0: ヒータ電流測定機能 1: ヒータ断線警報機能(加熱側)	1	
	HB2.S	ヒータ断線警報2機能選択	EASY	2: 冷却側ヒータ断線警報機能	1	
	HB1	ヒータ断線警報1電流設定値	EASY	OFF, 0.1~300.0Arms	OFF	
	HB2	ヒータ断線警報2電流設定値	EASY		OFF	
	CT1.T	CT1のコイル巻き数比	EASY	1~3300	800	
	CT2.T	CT2のコイル巻き数比	EASY		800	
	HDN1	ヒータ断線警報1オンデレイタイム	STD		0.00	
	HDN2	ヒータ断線警報2オンデレイタイム	STD		0.00	
	HDF1	ヒータ断線警報1オフデレイタイム	PRO	0.00~99.59(分.秒)	0.00	
	HDF2	ヒータ断線警報2オフデレイタイム	PRO		0.00	
	HB1.D	ヒータ断線警報1接点タイプ	PRO	CLS: 事象が発生したとき、接点を閉じる OPN: 事象が発生したとき、接点を開く	CLS	
	HB2.D	ヒータ断線警報2接点タイプ	PRO		CLS	

RS-485通信設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
R485	PSL	プロトコル選択	EASY	PCL: バスコンリンク通信 PCLSM: バスコンリンク通信(チェックサム付き) LADR: ラダー通信 CO-M: 協働観局 MBASC: Modbus(ASCII) MBRTU: Modbus(RTU) P-P: 機器間通信	MBRTU	
	BPS	通信速度	EASY	600: 600 bps 1200: 1200 bps 2400: 2400 bps 4800: 4800 bps 9600: 9600 bps 19200: 19.2k bps 38400: 38.4k bps	19200	
	PRI	パリティ	EASY	NONE: パリティなし EVEN: 偶数 ODD: 奇数	EVEN	
	STP	ストップビット	EASY	1: 1ビット、2: 2ビット	1	
	DLN	データ長	EASY	7: 7ビット、8: 8ビット	8	
	ADR	アドレス	EASY	1~99	1	
	RP.T	最小応答時間	PRO	0~10 (×10ms)	0	

パラメータが表示されているとき、グループ表示部に端子エリア(E3)が表示されます。

Ethernet通信設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
ETHR	HSR	高速レスポンスモード	EASY	OFF, 1~8	1	
	BPS	通信速度	EASY	9600: 9600 bps 19200: 19.2k bps 38400: 38.4k bps	38400	
	PRI	パリティ	EASY	NONE: パリティなし EVEN: 偶数 ODD: 奇数	EVEN	
	IP1	IPアドレス1	EASY	0~255	192	
	IP2	IPアドレス2	EASY	0~255	168	
	IP3	IPアドレス3	EASY	0~255	1	
	IP4	IPアドレス4	EASY	0~255	1	
	SM1	サブネットマスク1	EASY	0~255	255	
	SM2	サブネットマスク2	EASY	0~255	255	
	SM3	サブネットマスク3	EASY	0~255	255	
	SM4	サブネットマスク4	EASY	0~255	0	
	DG1	デフォルトゲートウェイ1	EASY	0~255	0	
	DG2	デフォルトゲートウェイ2	EASY	0~255	0	
	DG3	デフォルトゲートウェイ3	EASY	0~255	0	
	DG4	デフォルトゲートウェイ4	EASY	0~255	0	
	PRT	ポート番号	EASY	502, 1024~65535	502	
	IPAR	IPアクセス制限	EASY	OFF: 制限しない ON: 制限する	OFF	
	1.IP1	アクセス許可IPアドレス1-1	EASY	0~255	255	
	1.IP2	アクセス許可IPアドレス1-2	EASY	0~255	255	
	1.IP3	アクセス許可IPアドレス1-3	EASY	0~255	255	
	1.IP4	アクセス許可IPアドレス1-4	EASY	0~255	255	
	2.IP1	アクセス許可IPアドレス2-1	EASY	0~255	255	
	2.IP2	アクセス許可IPアドレス2-2	EASY	0~255	255	
	2.IP3	アクセス許可IPアドレス2-3	EASY	0~255	255	
	2.IP4	アクセス許可IPアドレス2-4	EASY	0~255	255	
	ESW	Ethernet設定スイッチ	EASY	OFF, ON ESWを"ON"にすることにより、設定したEthernetパラメータが有効となります。 ※ESWは"ON"に設定した後、自動的に"OFF"に戻ります。	OFF	

パラメータが表示されているとき、グループ表示部に端子エリア(E3)が表示されます。

PROFIBUS-DP通信設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
PROF	BR	通信速度	EASY	9.6K:9.6k bps 19.2K:19.2k bps 93.75K:93.75k bps 187.5K:187.5k bps 0.5M:0.5M bps 1.5M:1.5M bps 3M:3M bps 6M:6M bps 12M:12M bps AUTO 45.45K:45.45k bps	AUTO	
	ADR	アドレス	EASY	0~125	3	
	BPS	通信速度	EASY	9600:9600 bps 19200:19.2k bps 38400:38.4k bps	38400	
	FILE	プロファイル番号	EASY	0, 11~13	0	
	SCAN	自動再スキャン要求間隔	PRO	OFF 1M:1分 10M:10分 30M:30分 60M:60分	OFF	

パラメータが表示されているとき、グループ表示部に端子エリア(E3)が表示されます。

DeviceNet通信設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
DNET	BR	通信速度	EASY	125K:125k bps 250K:250k bps 500K:500k bps	125K	
	ADR	アドレス	EASY	0~63	63	
	BPS	通信速度	EASY	9600:9600 bps 19200:19.2k bps 38400:38.4k bps	38400	
	FILE	プロファイル番号	EASY	0, 11~13	0	
	SCAN	自動再スキャン要求間隔	PRO	OFF 1M:1分 10M:10分 30M:30分 60M:60分	OFF	

パラメータが表示されているとき、グループ表示部に端子エリア(E3)が表示されます。

CC-Link通信設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
CC-L	BR	通信速度	EASY	156K:156k bps 625K:625k bps 2.5M:2.5M bps 5M:5M bps 10M:10M bps	10M	
	ADR	アドレス	EASY	1~64	1	
	BPS	通信速度	EASY	9600:9600 bps 19200:19.2k bps 38400:38.4k bps	38400	
	FILE	プロファイル番号	EASY	0, 11~13 (0, 11:Ver.1.10, 12, 13:Ver.2.00)	0	
	SCAN	自動再スキャン要求間隔	PRO	OFF 1M:1分 10M:10分 30M:30分 60M:60分	OFF	

パラメータが表示されているとき、グループ表示部に端子エリア(E3)が表示されます。

キー動作設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
KEY	RUN	RUNキー動作設定	RPO	OFF:未設定 PROG:プログラム運転への切替 RESET:プログラム運転停止への切替 LOCAL:ローカル運転開始への切替 P/R:プログラム運転開始/停止切替 P/H:プログラム運転開始/ロード運転切替 P/L:プログラム運転開始/ローカル運転開始切替	PROG	
	RST	RSTキー動作設定	PRO	HLD:ホールド運転への切替 ADV:アドバンス実行 A/M:自動/手動切替	RESET	
	PTN	PTNキー動作設定	PRO	PRG1:プログラムパターン1運転開始への切替 PRG2:プログラムパターン2運転開始への切替 AT:オートチューニング実行 LTUP:LCD輝度増加 LTDN:LCD輝度減少 BRI:LCD輝度調整	PTN	
	MODE	MODEキー動作設定	PRO	LCD:LCDバックライトオン/オフ切替 LAT:ラッチ解除 PID:PIDチューニング切替 PTN:プログラムパターン番号切替 MODE:運転モード	MODE	

表示機能設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
DISP	PCMD	PV表示色切替	EASY	0: 白色固定モード 1: 赤色固定モード 2: 警報1連動モード(警報発生なし: 白色、警報発生: 赤色) 3: 警報1連動モード(警報発生なし: 赤色、警報発生: 白色) 4: 警報1または警報2連動モード(警報発生なし: 白色、警報発生: 赤色) 5: 警報1または警報2連動モード(警報発生なし: 赤色、警報発生: 白色) 6: PV連動モード(範囲内: 白色、範囲外: 赤色) 7: PV連動モード(範囲内: 赤色、範囲外: 白色) 8: 偏差連動モード(偏差内: 白色、偏差外: 赤色) 9: 偏差連動モード(偏差内: 赤色、偏差外: 白色) 10: DI連動モード(オン: 赤色、オフ: 白色)	0	
	PCH	PV表示色切替時上限設定値	EASY	PV連動モード、偏差連動モード時に表示値で設定します。 -19999~30000(入力レンジ範囲内で設定してください)	0	
	PCL	PV表示色切替時下限設定値	EASY	小数点位置は、入力種類によります。	0	
	PTSL	プログラムパターン表示選択	STD	PTN: パターン表示 SK.RP: ランプ・ソーク表示	PTN	
	BAR1	バー表示内容登録	STD	0: 表示なし 1: OUT、加熱側OUT、位置比例時は内部演算値 2: 冷却側OUT 3: PV 4: SP 5: 偏差 17: フィードバック入力値(バルブ開度) 18: PV 端子アナログ入力値 23: タイムイベント、警報状態	23	
	BDV	バー偏差表示幅	STD	PV入力レンジスパンの0.0~100.0%(工業量)	PV入力レンジスパンの 10.0%	
	EV1	EV1表示条件登録	PRO	設定範囲: 4001 ~ 6304 OFF: オフ 4785: PVイベント1/ローカルイベント1に連動(発生時点灯) 4786: PVイベント2/ローカルイベント2に連動(発生時点灯) 4817: タイムイベント1に連動(発生時点灯) 4818: タイムイベント2に連動(発生時点灯) 4819: タイムイベント3に連動(発生時点灯) 4821: タイムイベント4に連動(発生時点灯) 4321: 警報1(発生時点灯) 4322: 警報2(発生時点灯)	4785	
	EV2	EV2表示条件登録	PRO	4529: ヒータ断線警報1(発生時点灯) 4530: ヒータ断線警報2(発生時点灯) 5025~5027: DI1~DI3に連動(接点閉: 点灯) 5041~5045: DI11~DI15に連動(E1端子エリア)(接点閉: 点灯) 5089~5093: DI41~DI45に連動(E4端子エリア)(接点閉: 点灯) 5153~5155: AL1~AL3に連動(接点閉: 点灯) 5169~5173: DO11~DO15に連動(E1端子エリア)(接点閉: 点灯) 5217~5221: DO41~DO45に連動(E4端子エリア)(接点閉: 点灯) その他の機能については、「UTAdvancedシリーズ通信インタフェース ユーザーズマニュアル」をご覧ください。	4786	
	PV.D	PV表示部オン/オフ	PRO	OFF: 非表示	ON	
	SP.D	設定値表示部オン/オフ	PRO	ON: 表示	ON	
	STS.D	ステータス表示部オン/オフ	PRO		ON	
	SPD	スクロールスピード	PRO	(遅い)1~8(早い)	4	
	GUID	ガイド表示オン/オフ	STD	OFF: 非表示 ON: 表示	ON	
	HOME	ホーム運転画面設定	PRO	SP1: SP表示画面 OUT1: OUT表示画面 HCO: 加熱冷却OUT表示画面 VP: バルブ位置表示画面 MV: 位置比例演算出力値表示画面 PID1: PID番号表示画面 HC1: ヒータ断線警報1電流値表示画面 HC2: ヒータ断線警報2電流値表示画面 PV: PVアナログ入力値表示画面 CS1~CS5: セレクト画面1~5 TSP: TSP表示画面 R.TIM: 残りセグメント時間表示画面 SEG.N: セグメント番号表示画面 R.CYC: 残りリポート回数表示画面 PTN: プログラムパターン表示画面	SP1	
	ECO	省エネモード	STD	OFF: オフ 1: 省エネモードオン(PV表示部以外消灯) 2: 省エネモードオン(全表示画面消灯) 3: 輝度10%(表示画面全体)	OFF	
	BRI	輝度	EASY	(暗い)1~5(明るい)	3	
	B.PVV	PV表示部の白色輝度調整	PRO	PV表示部の白色輝度の調整を行います。 (暗い)-4~4(明るい)	0	
	B.PVR	PV表示部赤色輝度調整	PRO	PV表示部の赤色輝度の調整を行います。 (暗い)-4~4(明るい)	0	
	B.SP	設定値表示部の輝度調整	PRO	SP表示部の輝度の調整を行います。 (暗い)-4~4(明るい)	0	
B.BAR	バーグラフ表示部の輝度調整	PRO	バーグラフ表示部の輝度の調整を行います。 (暗い)-4~4(明るい)	0		
B.STS	ステータス表示部の輝度調整	PRO	ステータス表示部の輝度の調整を行います。 (暗い)-4~4(明るい)	0		
D.CYC	表示更新周期	PRO	1: 100ミリ秒 2: 200ミリ秒 3: 500ミリ秒 4: 1秒 5: 2秒	2		
OP.JP	運転画面への自動復帰設定	PRO	5分間キー操作がない場合、運転画面に自動的に戻ります。 OFF: 自動復帰しない ON: 自動復帰する	ON		
MLSD	PV表示最下位桁マスク	STD	OFF: 最下位桁あり ON: 最下位桁なし	OFF		

セレクト画面設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
CSEL	CS1	セレクト画面1登録	STD	OFF: 登録なし	OFF	
	CS2	セレクト画面2登録	STD	Dレジスタ番号(2201~5000) 登録パラメータのDレジスタ番号については、通信マニュアルを参照ください。	OFF	
	CS3	セレクト画面3登録	STD		OFF	
	CS4	セレクト画面4登録	STD	主な登録パラメータ Oグループ1(S.PID=1)	OFF	
	CS5	セレクト画面5登録	STD	制御出力リミット上限値(OH): 3004、制御出力リミット下限値(OL): 3005、 冷却側制御出力リミット上限値(OHc): 3016、冷却側制御出力リミット下限値(OLc):	OFF	
	CS10	セレクトパラメータ10登録	PRO	3017	OFF	
	CS11	セレクトパラメータ11登録	PRO	Oグループ2(S.PID=2) 制御出力リミット上限値(OH): 3054、制御出力リミット下限値(OL): 3055、 冷却側制御出力リミット上限値(OHc): 3066、冷却側制御出力リミット下限値(OLc):	OFF	
	CS12	セレクトパラメータ12登録	PRO	3067	OFF	
	CS13	セレクトパラメータ13登録	PRO	Oグループ3(S.PID=3) 制御出力リミット上限値(OH): 3104、制御出力リミット下限値(OL): 3105、 冷却側制御出力リミット上限値(OHc): 3116、冷却側制御出力リミット下限値(OLc):	OFF	
	CS14	セレクトパラメータ14登録	PRO	3117	OFF	
	CS15	セレクトパラメータ15登録	PRO	グループ4(S.PID=4) 制御出力リミット上限値(OH): 3154、制御出力リミット下限値(OL): 3155、 冷却側制御出力リミット上限値(OHc): 3166、冷却側制御出力リミット下限値(OLc):	OFF	
	CS16	セレクトパラメータ16登録	PRO	3167	OFF	
	CS17	セレクトパラメータ17登録	PRO		OFF	
	CS18	セレクトパラメータ18登録	PRO		OFF	
	CS19	セレクトパラメータ19登録	PRO	警報1設定値(A1): 2351、警報2設定値(A2): 2352	OFF	

キーロック設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
KLOC	U.SP	SP表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.TSP	TSP表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.TM	残りセグメント時間表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.OUT	OUT表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.HCO	加熱冷却OUT表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.VP	バルブ位置表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.MV	位置比例演算出力値表示画面ロック	PRO	OFF: 表示 ON: 非表示	ON	
	U.PID	PID番号表示画面ロック	PRO		ON	
	U.SEG	セグメント番号表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.RCY	残りリポート回数表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.PTN	プログラムパターン表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.HC	ヒータ断線警報電流値表示画面ロック	PRO		OFF	
	U.PV	PVアナログ入力値表示画面ロック	PRO		ON	
	COM.W	通信書き込み禁止/許可	STD	OFF: 許可 ON: 禁止	OFF	
	DATA	計器前面(Δ、▽)のデータ設定キーロック	STD		OFF	
	RUN	計器前面のRUNキーロック	STD		OFF	
	RST	計器前面のRSTキーロック	STD	OFF: ロック解除 ON: ロック	OFF	
	PTN	計器前面のPTNキーロック	STD		OFF	
	MODE	計器前面のMODEキーロック	STD		OFF	

メニューロック設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
MLOC	CTL	メニュー「CTL」ロック	PRO		OFF	
	PV	メニュー「PV」ロック	PRO		OFF	
	MPV	メニュー「MPV」ロック	PRO		OFF	
	OUT	メニュー「OUT」ロック	PRO		OFF	
	HBA	メニュー「HBA」ロック	PRO		OFF	
	R485	メニュー「R485」ロック	PRO		OFF	
	ETHR	メニュー「ETHR」ロック	PRO		OFF	
	PROF	メニュー「PROF」ロック	PRO		OFF	
	DNET	メニュー「DNET」ロック	PRO		OFF	
	CC-L	メニュー「CC-L」ロック	PRO		OFF	
	KEY	メニュー「KEY」ロック	PRO		OFF	
	DISP	メニュー「DISP」ロック	PRO	OFF: 表示 ON: 非表示	OFF	
	CSEL	メニュー「CSEL」ロック	PRO		OFF	
	KLOC	メニュー「KLOC」ロック	PRO		OFF	
	DI.SL	メニュー「DI.SL」ロック	PRO		OFF	
	DI.NU	メニュー「DI.NU」ロック	PRO		OFF	
	DI.D	メニュー「DI.D」ロック	PRO		OFF	
	ALM	メニュー「ALM」ロック	PRO		OFF	
	DO	メニュー「DO」ロック	PRO		OFF	
	I/O	メニュー「I/O」ロック	PRO		OFF	
	SYS	メニュー「SYS」ロック	PRO		OFF	
	INIT	メニュー「INIT」ロック	PRO		OFF	
	VER	メニュー「VER」ロック	PRO		OFF	
	LVL	メニュー「LVL」ロック	PRO		OFF	
	MODE	メニュー「MODE」ロック	PRO		OFF	
	CS	メニュー「CS」ロック	PRO		OFF	
	PROG	メニュー「PROG」ロック	PRO		OFF	
	LOC	メニュー「LOC」ロック	PRO		OFF	
	EDIT	メニュー「EDIT」ロック	PRO		OFF	
	AL	メニュー「AL」ロック	PRO	OFF: 表示 ON: 非表示	OFF	
	SPS	メニュー「SPS」ロック	PRO		OFF	
	ALRM	メニュー「ALRM」ロック	PRO		OFF	
	PVS	メニュー「PVS」ロック	PRO		OFF	
	PID	メニュー「PID」ロック	PRO		OFF	
	TUNE	メニュー「TUNE」ロック	PRO		OFF	
	ZONE	メニュー「ZONE」ロック	PRO		OFF	
	PPAR	メニュー「PPAR」ロック	PRO		OFF	

以下のパラメータは、グループ表示部に端子エリア(E1~E4)が表示されると、各端子エリアのパラメータとなります。
 *パラメータR485, ETHR, PROF, DNET, CC-L, DI.D, DO

DI機能割付パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
DI.SL	PRG	プログラム運転開始への切替	STD		5025	
	RST	プログラム運転停止への切替	STD		5026	
	LOC	ローカル運転開始への切替	STD		5027	
	P/R	プログラム運転開始/停止切替	STD		OFF	
	P/H	プログラム運転/ホールド運転切替	STD		OFF	
	P/L	プログラム運転/ローカル運転切替	STD		OFF	
	HOLD	ホールド運転開始への切替	STD	接点入力のIリレー番号を設定します。 未設定にする場合はOFFを設定します。	OFF	
	ADV	セグメント強制移行(アドバンス)	STD		OFF	
	WAIT	ウェイトオン/オフ切替	STD	標準端子	OFF	
	S.HLD	プログラム同期運転用ホールド運転開始	PRO	D11:5025, D12:5026, D13:5027	OFF	
	A/M	自動/手動切替	STD	E1端子エリア	OFF	
	AT	オートチューニング起動/停止切替	STD	D111:5041, D112:5042, D113:5043, D114:5044, D115:5045	OFF	
	LAT	ラッチ解除	STD	E4端子エリア	OFF	
	LCD	LCDバックライトオン/オフ切替	STD	D141:5089, D142:5090, D143:5091, D144:5092, D145:5093	OFF	
	PVRW	PV赤色/白色切替	STD		OFF	
	MG1	メッセージの割り込み表示1	PRO		OFF	
	MG2	メッセージの割り込み表示2	PRO		OFF	
	MG3	メッセージの割り込み表示3	PRO		OFF	
	MG4	メッセージの割り込み表示4	PRO		OFF	

DI番号機能割付パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
DI.NU	PT.B0	プログラムパターン番号指定時のビット0	EASY		5089	
	PT.B1	プログラムパターン番号指定時のビット1	EASY	接点入力のIリレー番号を設定します。 未設定にする場合はOFFを設定します。	5090	
	PT.B2	プログラムパターン番号指定時のビット2	EASY		5091	
	PN.B0	PID番号指定時のビット0	STD	標準端子	OFF	
	PN.B1	PID番号指定時のビット1	STD	D11:5025, D12:5026, D13:5027	OFF	
	PN.B2	PID番号指定時のビット2	STD	E1端子エリア	OFF	
	MP.B0	マニュアルリセット出力番号指定時のビット0	STD	D111:5041, D112:5042, D113:5043, D114:5044, D115:5045	OFF	
	MP.B1	マニュアルリセット出力番号指定時のビット1	STD	E4端子エリア	OFF	
	MP.B2	マニュアルリセット出力番号指定時のビット2	STD	D141:5089, D142:5090, D143:5091, D144:5092, D145:5093	OFF	
	PT.BC	プログラムパターン番号指定時のビット切替方法選択	PRO		0	
	PN.BC	PID番号指定時のビット切替方法選択	PRO	0: ステータス切替1 1: ステータス切替2	0	
	MP.BC	マニュアルリセット出力番号指定時のビット切替方法選択	PRO		0	

DI1-DI3接点タイプ設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
DI.D	DI1.D	DI1接点タイプ	PRO		0	
	DI2.D	DI2接点タイプ	PRO	0: 接点入力が開いたときに割り付いた機能を実行。 1: 接点入力が開いたときに割り付いた機能を実行。	0	
	DI3.D	DI3接点タイプ	PRO		0	

DI接点タイプ設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	E1端子エリア (D11~D115) お客様設定値	E4端子エリア (D141~D145) お客様設定値
DI.D	DI1.D	DIn1接点タイプ	PRO		0		
	DI2.D	DIn2接点タイプ	PRO		0		
	DI3.D	DIn3接点タイプ	PRO	0: 接点入力が開いたときに割り付いた機能を実行。 1: 接点入力が開いたときに割り付いた機能を実行。	0		
	DI4.D	DIn4接点タイプ	PRO		0		
	DI5.D	DIn5接点タイプ	PRO		0		

n: 端子エリア番号(1または4)

AL1-AL3機能割付パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
ALM	AL1.S	AL1機能選択	STD	Iリレー番号を設定します。 設定範囲: 4001~6304	4801	
	AL2.S	AL2機能選択	STD	機能なし: OFF PV イベント1: 4801, PV イベント2: 4802, タイムイベント1: 4817, タイムイベント2: 4818, タイムイベント3: 4819, タイムイベント4: 4821, 警報1: 4353, 警報2: 4354,	4802	
	AL3.S	AL3機能選択	STD	自動(ON)/手動(OFF)ステータス: 4177, プログラム運転停止ステータス: 4181, プログラム運転ステータス: 4182, ローカル運転ステータス: 4183, ホールドモードステータス: 4189, アドバンス実行ステータス: 4187, パターンエンド信号(1秒): 4265, パターンエンド信号(3秒): 4266, パターンエンド信号(5秒): 4267, ウェイトエンド信号(1秒): 4257, ウェイトエンド信号(3秒): 4258, ウェイトエンド信号(5秒): 4259, FAIL(常時ON)出力: 4256	4817	
	OR.S	OUTリレー機能選択	STD		OFF	
	OR2.S	OUT2リレー機能選択	STD		OFF	
	AL1.D	AL1接点タイプ	PRO		0	
	AL2.D	AL2接点タイプ	PRO	0: 割り付いた機能の事象が発生したとき、接点出力を閉じる。 1: 割り付いた機能の事象が発生したとき、接点出力を開く。	0	
	AL3.D	AL3接点タイプ	PRO		0	
	OR.D	OUTリレー接点タイプ	PRO	0: 割り付いた機能の事象が発生したとき、接点出力を閉じる。 1: 割り付いた機能の事象が発生したとき、接点出力を開く。	0	
	OR2.D	OUT2リレー接点タイプ	PRO		0	

DO設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	E1端子エリア (D011~D015) お客様設定値	E4端子エリア (D041~D045) お客様設定値
DO	DO1.S	DOn1機能選択	STD		左記		
	DO2.S	DOn2機能選択	STD	設定範囲はAL1.Sと同じ。	左記		
	DO3.S	DOn3機能選択	STD		左記		
	DO4.S	DOn4機能選択	STD	DO11=4353, DO12=4354, DO13=4818, DO14=4819, DO15=4821, DO41=OFF, DO42=OFF, DO43=OFF, DO44=OFF, DO45=OFF	左記		
	DO5.S	DOn5機能選択	STD		左記		
	DO1.D	DOn1接点タイプ	PRO		0		
	DO2.D	DOn2接点タイプ	PRO		0		
	DO3.D	DOn3接点タイプ	PRO		0		
	DO4.D	DOn4接点タイプ	PRO	0: 割り付いた機能の事象が発生したとき、接点出力を閉じる。 1: 割り付いた機能の事象が発生したとき、接点出力を開く。	0		
	DO5.D	DOn5接点タイプ	PRO		0		

n: 端子エリア番号(1~4)

I/O表示パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲
I/O	KEY	キーステータス	PRO	表示のみです。 ユーザーズマニュアルをご覧ください。
	X000	DI1-DI3ステータス(標準搭載)	PRO	
	X100	DI11-DI15ステータス(E1端子エリア)	PRO	
	X400	DI41-DI45ステータス(E4端子エリア)	PRO	
	Y000	AL1-AL3ステータス(標準搭載)	PRO	
	Y100	DO11-DO15ステータス(E1端子エリア)	PRO	
	Y400	DO41-DO45ステータス(E4端子エリア)	PRO	

システム設定パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
SYS	R.MD	リスタートモード	STD	CONT: 停電前の動作を継続します。 MAN: 手動モードから開始します。 RESET: 自動モードかつリセットで開始されます。プリセット出力値が出力されます。 ※ 5秒以上の停電が起きたとき、調節計の復帰状態を設定します。	CONT	
	R.TM	リスタートタイム	STD	0~10秒 ※ 調節計が電源オン後、演算を開始する時間を設定します。	0	
	EPO	入力エラープリセット出力	STD	0: プリセット出力 1: 0%出力 2: 100%出力 ※ 入力バーンアウト、ADCエラーが発生した場合の出力値をあらかじめ設定します。 手動運転のとき、入力バーンアウトが発生したら手動出力が優先されます。	0	
	C.GRN	GREENシリーズ機器レスポンス	PRO	OFF: 通信における機器情報のレスポンスやブロードキャスト時、UP35Aとして動作します。 ON: 通信における機器情報のレスポンスやブロードキャスト時、GREENシリーズ機器として動作します。	OFF	
	FREQ	電源周波数	EASY	AUTO 60: 60Hz 50: 50Hz	AUTO	
	QSM	クイック設定モード	EASY	OFF: クイック設定モードオフ ON: クイック設定モードオン	ON	
	LANG	ガイド表示言語	EASY	ENG: 英語 FRA: フランス語 GER: ドイツ語 SPA: スペイン語	形名・仕様コードによる	
	PASS	パスワード	EASY	0(パスワード未設定)~65535	0	
SMEC	サンプリング周期エラーカウンタ	PRO	0~65535(表示のみ)	電源オン時: 0		

初期化パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
INIT	U.DEF	ユーザ設定値初期化	PRO	12345を設定すると初期化実行。実行後0に戻ります。	0	
	F.DEF	工場出荷時値初期化	PRO	-12345を設定すると初期化実行。実行後0に戻ります。	0	
	P.DEF	プログラム・パターンデータ全消去	PRO	13579を設定すると消去実行。実行後0に戻ります。 ※ メニュー「PROG」内データ全消去	0	

エラー/バージョン確認パラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲
VER	PA.ER	パラメータエラーステータス	EASY	表示のみです。 ユーザーズマニュアルをご覧ください。
	OP.ER	オプションエラーステータス	EASY	
	AD1.E	A/Dコンバータエラーステータス1	EASY	
	AD2.E	A/Dコンバータエラーステータス2	EASY	
	PV1.E	PV入力エラーステータス	EASY	
	LA.ER	ラダーエラーステータス	EASY	
	MCU	MCUバージョン	EASY	
	DCU	DCUバージョン	EASY	
	ECU1	ECU1バージョン	EASY	
	ECU4	ECU4バージョン	EASY	
	PARA	パラメータバージョン	EASY	
	H.VER	製品バージョン	EASY	
	SER1	シリアル番号1	EASY	
	SER2	シリアル番号2	EASY	
	MAC1	MACアドレス1	EASY	
	MAC2	MACアドレス2	EASY	
	MAC3	MACアドレス3	EASY	

以下のパラメータを表示しているときは、グループ表示部に端子エリア(E1~E4)が表示されます。
-パラメータECU1、ECU4、MAC1、MAC2、MAC3

パラメータ表示レベルパラメータ

メニュー	パラメータ記号	名 称	表示レベル	設定範囲	初期値	お客様設定値
LVL	LEVL	パラメータ表示レベル	EASY	EASY: かんたん設定モード STD: スタンダード設定モード PRO: プロフェッショナル設定モード	STD	

UTAdvanced UP35A

プログラムパターン設定例

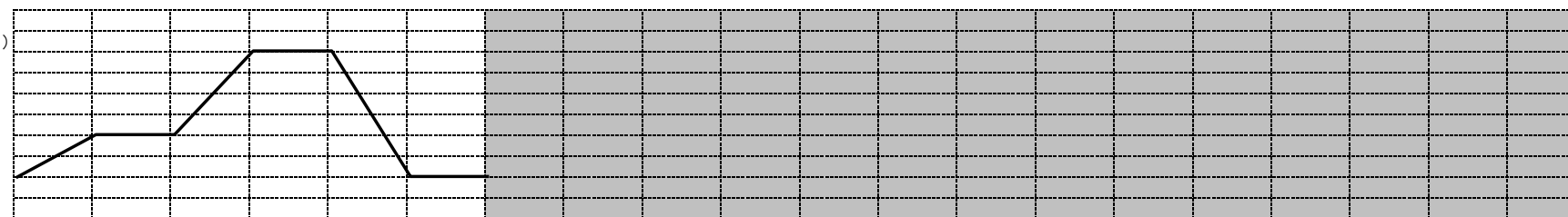
注意 プログラムパターンを作成する前にPV入力レンジ、プログラム時間単位 (TMU)、セグメント設定方式 (SEG.T) を再確認してください。
 プログラムパターン作成後にSEG.Tを変更すると、全てのプログラムが消去されますのでご注意ください。

以下の設定表は、1パターン20セグメント分です。21セグメント以上のプログラムパターンを作成する場合は必要数分コピーしてご使用ください。

装置名	0000
プログラムNo.	△△△△
プログラム名称	□□□□
形名	UP35A
シリアルNo.	

PV入力レンジ最大値/PV入力スケール最大値 (250.0)
 単位 (°C)

※右表にプログラムパターンを描けます。



PV入力レンジ最小値/PV入力スケール最小値 (0.0)

以下のパラメータは、プログラムを作成する前に設定しておく必要があるパラメータです。特にTMUとSEG.Tは、プログラム作成後に変更するとプログラムが消去されますのでご注意ください。

パラメータ記号	名称	設定値
TMU	プログラム時間単位	HH.MM
SEG.T	セグメント設定方式	TIME
ZON	ゾーンPID選択	0

パラメータ記号	名称	セグメント																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
TSP	到達目標設定値	100.0	100.0	200.0	200.0	50.0	50.0														
TIME	セグメント時間設定	0.50	0.30	1.00	0.30	0.50	0.30														
TM.RT	セグメント勾配・時間設定																				
S.PID	セグメントPID 番号選択	1	2	3	4	3	2														
JC	ジャンクションコード	CONT	CONT	CONT	CONT	CONT	CONT														
PV.TY1	PVイベント1種類	5	1	5	1	6	2														
PV.EV1	PVイベント1設定値	5.0	110.0	5.0	210.0	5.0	10.0														
PV.TY2	PVイベント2種類																				
PV.EV2	PVイベント2設定値																				
TME1	タイムイベント1開始条件	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF														
T.ON1	タイムイベント1オン時間	0.25																			
T.OF1	タイムイベント1オフ時間			0.20		0.20															
TME2	タイムイベント2開始条件	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON														
T.ON2	タイムイベント2オン時間																				
T.OF2	タイムイベント2オフ時間																				
TME3	タイムイベント3開始条件																				
T.ON3	タイムイベント3オン時間																				
T.OF3	タイムイベント3オフ時間																				
TME4	タイムイベント4開始条件																				
T.ON4	タイムイベント4オン時間																				
T.OF4	タイムイベント4オフ時間																				

以下のパラメータは、指定したプログラムパターンの共通パラメータです。設定範囲は、パラメータ編をご覧ください。

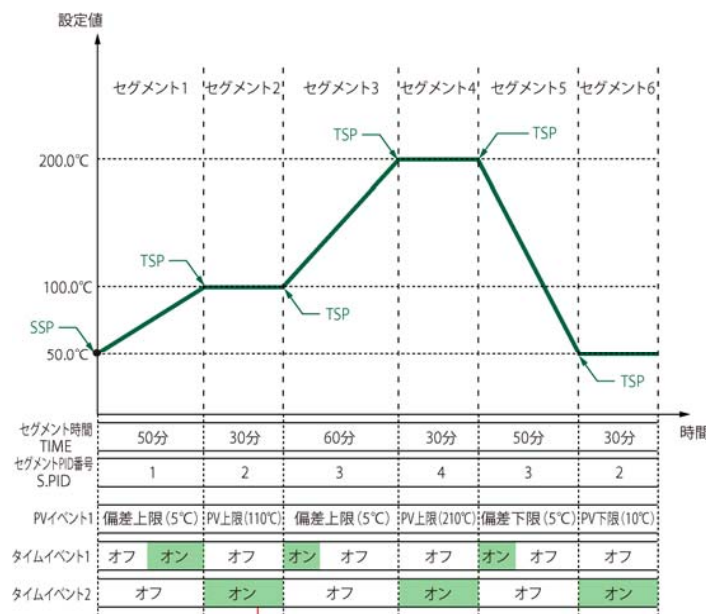
パラメータ記号	名称	設定値
SSP	スタート目標設定値	50.0
STC	スタートコード	SSP
WT.SW1	ウェイト機能オン/オフ	
WZ.UP1	上側ウェイトゾーン	
WZ.LO1	下側ウェイトゾーン	
WT.TM1	ウェイトタイム	
R.CYCL	リピート回数	
R.STRT	リピートスタートセグメント番号	
R.END	リピートエンドセグメント番号	

以下は、プログラムパターンの例です。

- ① 運転開始温度を50.0°Cとし、100.0°Cまで50分かけて昇温させます。
- ② 100.0°Cまで昇温させたら30分間この温度を一定させます。
- ③ 200.0°Cまで60分かけて昇温させます。
- ④ 200.0°Cまで昇温させたら30分間この温度を一定させます。
- ⑤ 50.0°Cまで50分かけて降温させます。
- ⑥ 50.0°Cまで降温させたら30分間この温度を一定させます。

PV入力レンジは以下の通りです。
 PV入力レンジ最大値: 250.0°C
 PV入力レンジ最小値: 0.0°C
 PV入力単位: C

ゾーンPID選択 (ZON): セグメントPID選択方式 (0)
 セグメント設定方式 (SEG.T): セグメント時間設定 (TIME)
 プログラム時間単位 (TMU): 時・分 (HH.MM)



各セグメントのTSP (到達目標設定値)、TIME (セグメント時間設定)、S.PID (セグメントPID番号選択) / パラメータの表示記号は同じですが、記号表示部にセグメント番号が表示されます。